

平成19年度予算 施策別概要

541 快適な都市環境の整備

(担当当部 : 県土整備部)

- 54101 安全で快適なまちづくり (県土整備部)
- 54102 清潔で快適な都市環境づくり (県土整備部)
- 54103 潤いある都市空間の整備 (県土整備部)
- 54104 計画的なまちづくりの推進 (県土整備部)
- 54105 ユニバーサルデザインのまちづくりへの整備 (健康福祉部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 快適で、個性と魅力のあるまちで、伸び伸びと活動し、安心して暮らしている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	市街地の都市計画道路改良率	目標値	2010	62.0% (2009 年度)
			2007	60.4% (2006 年度)
		現状値	59.7% (2005 年度)	

県内の市街地 (用途地域内) における都市計画道路の改良率

県の取組 目標項目 (副指標)	下水道普及率	目標値	2010	48.0%
			2007	42.0%
		現状値	40.1%	
	都市計画区域内人口一人あたりの都市公園面積	目標値	2010	9.27 m ² /人
			2007	8.92 m ² /人
		現状値	8.76 m ² /人	

< 現状と課題 >

- ・ 三重県の都市基盤施設 (街路、下水道、都市公園) の整備状況は全国平均に比べ遅れており、基盤整備を計画的に進めていく必要があります。しかし、公共事業の予算は年々減少しており、更なる選択と集中の取組が求められています。
- ・ 人口減少・少子高齢社会の到来、環境問題等への対応の観点から、都市基盤施設や公共交通機関などの既存ストックを有し、地域のコミュニティーや文化活動を継承している中心市街地で暮らしと賑わいを再生して、集約型都市構造の形成 (コンパクトなまちづくり) をめざしていく必要があります。
- ・ 高齢者や障害者に限らず誰もが、活動しやすく、暮らしやすい「ユニバーサルデザインのまちづくり」を事業者、市町、地域の人たちと協力して進めていく必要があります。

<平成19年度の取組方向>

市街地の分断や踏切渋滞の解消を図るため、連続立体交差事業をはじめとする鉄道と街路との立体交差化を行う事業に重点的に取り組むとともに、緊急輸送道路の整備や歩道のバリアフリー化、電線の地中化を進めます。

流域下水道事業については、志登茂川処理区の早期供用に向け重点的に取り組むとともに、他の処理区においても関連市町の整備計画と整合を図り、処理場の増設や幹線管渠の延伸を進めます。

都市公園については、地域の豊かな自然や観光資源を生かしつつ、整備効果の早期発現に向けて重点整備を行います。

広域的なバランスに配慮しつつ地域が主体となった個性あるまちづくりが進められるよう、市町や関係機関と十分調整を図りながら都市計画区域マスタープランの改定に着手します。

「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」及び「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、商業施設など不特定多数の人々が利用する公共的施設について、整備基準等の周知徹底を図るとともに、駅舎のバリアフリー化に対して支援を行います。

<主な事業>

(一部重)(一部舞)街路事業【基本事業名：54101 安全で快適なまちづくり】

予算額： 3,653,653千円 3,323,000千円 *

事業概要：鉄道との立体交差化、緊急輸送道路の整備、電線類の地中化などにより、都市内交通の円滑化や防災機能の強化などを図ります。

流域下水道(建設)事業【基本事業名：54102 清潔で快適な都市環境づくり】

予算額： 15,425,178千円 14,371,146千円

事業概要：公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、流域下水道の整備を推進します。

国補公園事業【基本事業名：54103 潤いある都市空間の整備】

予算額： 654,000千円 966,000千円 *

事業概要：北勢中央公園、熊野灘臨海公園の整備を進め早期の供用を図ります。

(一部舞)都市計画基礎調査費【基本事業名：54104 計画的なまちづくりの推進】

予算額： 4,032千円 32,400千円

事業概要：都市計画区域マスタープランの改定に向けて、都市計画基礎調査を実施し、データの整理及び分析を行います。

交通施設バリアフリー化事業【基本事業名：54105 ユニバーサルデザインのまちづくりへの整備】

予算額： 33,504千円 42,672千円

事業概要：高齢者や障害者等の移動の円滑化を図るため、近鉄伊勢中川駅のバリアフリー化工事を支援します。